



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2024年09月24日 第1186号「週刊五十嵐レポート」

## マネーは強欲

9月20日付日経新聞、「米景気軟着陸へ大幅利下げ」という記事。

FRB(米連邦準備理事会)の金融政策が利下げ局面に転換。政策金利5.5%を0.5%引き下げ、5.0%にする。景気後退を招かず金融引き締めを緩めるソフトランディング(軟着陸)に着手。

米国政策金利の推移は、2000年6.5%。01年ITバブル崩壊後1.0%まで下げる。その後段階的に金利を上げ、06年は5.5%。08年リーマンショック後、0.25%まで下げる。16年0.5%に、その後段階的に上げ、19年2.5%。20年コロナ禍、0.25%まで下げる。22年ロシアのウクライナ侵攻後、5.5%まで上げる。

一方、日本の金利は、バブル崩壊後1990年6%から段階的に下がり、95年0.5%に。01年2月0.35%、9月0.1%まで下がり、06年0.4%、07年0.75%まで上げる。08年リーマンショック後、0.3%に下げ、24年7月まで続く(異次元の低金利)。24年8月0.5%に上げる。

円ドル為替レートは、90年代後半から07年までは1ドル100円~120円前後で推移。08年リーマンショック後、徐々に円高になり10年~12年80円台。その後、15年~21年100円台~110円台。22年130円台、23年140円台、24年一時160円まで円が下がる。24年8月以降140円台へ。ロシア侵攻から円安。

日経平均株価は、07年1万8,000円、リーマンショック後08年~11年8,000円台。その後、15年2万円台、18年2万4,000円台。コロナ禍20年3月1万6,000円台まで下落。24年3月4万円まで上昇。現在9月3万7,000円前後で推移。

日本の金利は異常に低い。金利を上げていくことが正常化になっていく(株式配当利回りでも2~5%はある)。円ドル為替レートは今まで、80円~120円で推移していたが、ロシアのウクライナ侵攻から資源高、物価高騰、円安が加速。世界から見ると、円ドルが80~100円の時代から140~160円になった。日本のモノが半値近くに見える。マネーは強欲と言われる。儲かる所にマネーは動く。内から日本を見る眼と、外から日本を見る眼は大きく違う。

さあ、この流れ、自社にどう生かす？

ちょっと  
気になる出来事

9月17日付日経新聞、「日本語ドラマ天下取る」という記事。真田広之さんが主演したドラマ「SHOGUN将軍」が米エミー賞で計18冠の快挙。

スタッフやキャストに日本人が多く参加、セリフの70%は日本語で、英語字幕を使用。日本人俳優が日本語でセリフを語る歴史ドラマが米国でヒットしたのは、韓国ドラマの躍進が土壌を作ったことが大きい。一般的には米国人は外国の映画やドラマを吹き替えで見ることを好むが、韓国ドラマのヒットを機に英語字幕で見ることに抵抗がなくなった。

「SHOGUN」への注目は米社会の多様化の流れも反映している。23年の米国人人口における白人比率は6割弱。数年後は有色人種が多数派になる見込み。ハリウッドも変化を迫られている。アカデミー賞を主催する映画芸術アカデミーは会員に非白人や海外の映画人を増やし、偏向の是正に動いている。

西洋と日本のクルーやキャストと一緒に仕事をするということは、互いを尊重し合い、学び合い、助け合うということ。

全てに相通ずること。扉は開いた。



一口メモ  
知識

## 明(めい)を継(つ)ぐ

明(めい) 両(ふた) たび作(おこ) るは離(り) なり。  
大人(たいじん) もって明(めい) を継(つ) ぎ、四方を照らす。

「明(めい) 両(ふた) たび作(おこ) る」とは太陽を意味する。今日も明日も太陽が昇るということである。

これは国や社会、また家庭の照らし方、その心構えをいう。「離」は「火」であり、燃え上がる火はよく見ればその中心は暗い。つまり、心が空虚でなければ、明を継ぐことはできない。

朝に昇る太陽のように、日々心新たであれば、周りを明るく照らすことができるという教えである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com



新経営の志手帳